

科目名称	論理学	学年学期	単位数	時間数
		第1学年 後期	1	30
担当教員	森川 孝吉	授業に関わる 実務経験	☐ 有 () ☒ 無	

【1】授業概要

仲間内だけの会話にとどまらず、我々が趣味や意見、文化の異なる人たちとの意思疎通を真剣に考え始めると、そうした人たちとも共通する施行規則を理解しておくことは必要不可欠である。またフォーマルな場での話し方、報告書・論文の書き方にも「相手が理解しやすい＝論理的な」話し方、書き方の工夫が求められる。本講義ではその基礎の習得を目指す。

【2】学習目標

1. 論理的思考及びその言語的表現について学ぶ。
2. 思考の矛盾や妥当性を判断して処理する能力を養う。

【3】第1看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

- 1. 生活者としての人間の理解
- 2. 人間の生命、尊厳、権利を尊重した判断・行動
- ☐ 3. 多様な価値観、共感的態度、倫理に基づいた看護実践
- ☐ 4. 科学的根拠に基づいた看護実践
- ☐ 5. 多職種との連携・協働
- ☐ 6. 地域医療の理解と生活の支援
- 7. 自己の資質向上のための主体的な学び

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
1	記号を交えた論理的思考 (1) 命題と結合子	講義
2	記号を交えた論理的思考 (2) 恒真命題と充足可能命題の違い	講義
3	記号を交えた論理的思考 (3) 推理とは？	講義
4	記号を交えた論理的思考 (4) 真理値割当法による妥当な推理の判定(1)	講義
5	記号を交えた論理的思考 (5) 真理値割当法による妥当な推理の判定(2)	講義
6	命題論理から述語論理へ (1)	講義
7	命題論理から述語論理へ (2)	講義
8	必要条件と十分条件	講義
9	Toulmin による論理学の改革	講義
10	演繹法と帰納法の違い	講義
11	論理的な発想法(1)	講義
12	論理的な発想法(2)	講義
13	論理的文章の作成法	講義
14	振り返り	講義
15	試験・まとめ	

【5】評価方法

教場試験の結果に、課題レポートの出来を加点評価として加え総合的に評価する。

【6】教科書

・実践ロジカルシンキング入門 2015年 初版

【7】参考書

- ・A.スミス『道徳感情論』,村井章子ほか訳,日経 BP 社
- ・E.フロム『愛するということ』鈴木昌訳,未来社
- ・J.ロールズ『正義論』川本隆史ほか訳,平凡社
- ・A.セン『正義のアイデア』池本幸生訳,明石書店
- ・M.サンデル『これからの正義の話をしよう』鬼澤忍訳,早川書房
- ・J.シャロン『死と西洋思想』田中克佳ほか訳,行人社
- ・ハイデッガー『存在と時間』(1)～(4)熊野純彦訳,岩波書店
- ・H.アーレント『活動的生』森一郎訳,みすず書房

【8】受講生へのメッセージ

毎回、講義終了前 5 分程度を使ってその日の講義についてのコメントを書いてもらう予定です。
物事を論理的に考える、話す、記述する力を身につけることは重要です。難しいと思わず興味を持って学習してください。